北川民次略歴

１８９４年（明治２７年）　静岡県金谷町に生まれる

１９１０年（明治４３年）　静岡商業学校を卒業、早稲田大学予科に入学

１９１３年（大正２年）　　早稲田大学予科を中退、油絵を描き始める

１９１４年（大正３年）　　アメリカ、ポートランド市に渡米

１９２４年（大正１３年）　メキシコ市国立美術館に通い３ヶ月で卒業

　　　　　　　　　　　　　その後、メキシコで活躍

１９３３年（昭和８年）　　メキシコで　藤田嗣治の訪問を受ける

１９３６年（昭和１１年）　帰国、その後瀬戸市に移住

１９３７年（昭和１２年）　藤田嗣治の推薦を受け、第２４回二科展に出品、会員となる

　　　　　　　　　　　　　フランス美術偏重の日本画壇に衝撃を与える

　　　　　　　　　　　　　ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

　　　　　　　　　　　　　名古屋動物園美術学校、児童美術学校開設

　　　　　　　　　　　　　中日文化賞、現代日本美術展優秀賞、第６回現代日本美術展佳作賞

　　　　　　　　　　　　　等を受賞

　　　　　　　　　　　　　ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

　　　　　　　　　　　　　壁画として　瀬戸市立図書館、カゴメ名古屋本社ビル、CBC会館等

　　　　　　　　　　　　　に残されている

　　　　　　　　　　　　　名古屋市美術館には２００点の民次の作品があります

　　　　　　　　　　　　　瀬戸市には、北川民次アトリエが保存されており、瀬戸信用金庫

　　　　　　　　　　　　　アートギャラリーにも、民次の作品が展示されています

　　　　　　　　　　　　　ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

　　　　　　　　　　　　　静岡商業学校在学中は、絵より文章が得意で、「三文文士」という

　　　　　　　　　　　　　あだ名もつけられていたほどです（静商創立１００周年記念誌の２

　　　　　　　　　　　　　２４ページに先生との対話が綴られています）

　　　　　　　　　　　　　その才能を活かし、多くの著述作品を残しています

　　　　　　　　　　　　　「北川民次美術教育論」「絵を描く子供たち」「北川民次ーメキシ

　　　　　　　　　　　　　コの青春」等

　　　　　　　　　　　　　ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

１９７８年（昭和５３年）　二科会会長になる　その後辞任

１９８９年（平成元年）　　逝去　享年９５

　　　　　　　　　　　　　７月〜１０月　「北川民次展」を名古屋市美術館、静岡県立美術館

　　　　　　　　　　　　　で開催

———————————————————————————————————————————

記念講演会講師

瀬戸市美術館館長　服部　文孝様

　　　　　　　　　　　　　学芸員でもあり北川民次については、非常に憧憬が深く北川民次ア

　　　　　　　　　　　　　トリエも監修

　＊まだ、ご本人より資料が届いていません